

基本理念

血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため
需要に応じた献血血液を安定的に確保し
安全性・品質向上に取り組み
献血者の皆様の想いを届けます

施設概要

敷地面積：5,540.19 m²
建築面積：2,104.03 m²
延床面積：3,142.13 m²
構造：鉄骨 2 階建て



アクセス

車 仙台から 仙台宮城 IC (東北自動車道) — 村田 Jct (山形自動車道) — 山形北 IC — 国道 13 号線
東京から 浦和 IC (東北自動車道) — 村田 Jct (山形自動車道) — 山形北 IC — 国道 13 号線

電車 仙台から (仙山線) 羽前千歳駅 徒歩約 15 分
東京から (山形新幹線) 山形駅 — (奥羽本線) 羽前千歳駅 徒歩約 15 分

バス 山交ビル 天童温泉方面 「山交ビル」から「千歳」まで
※乗車時間 約 20 分

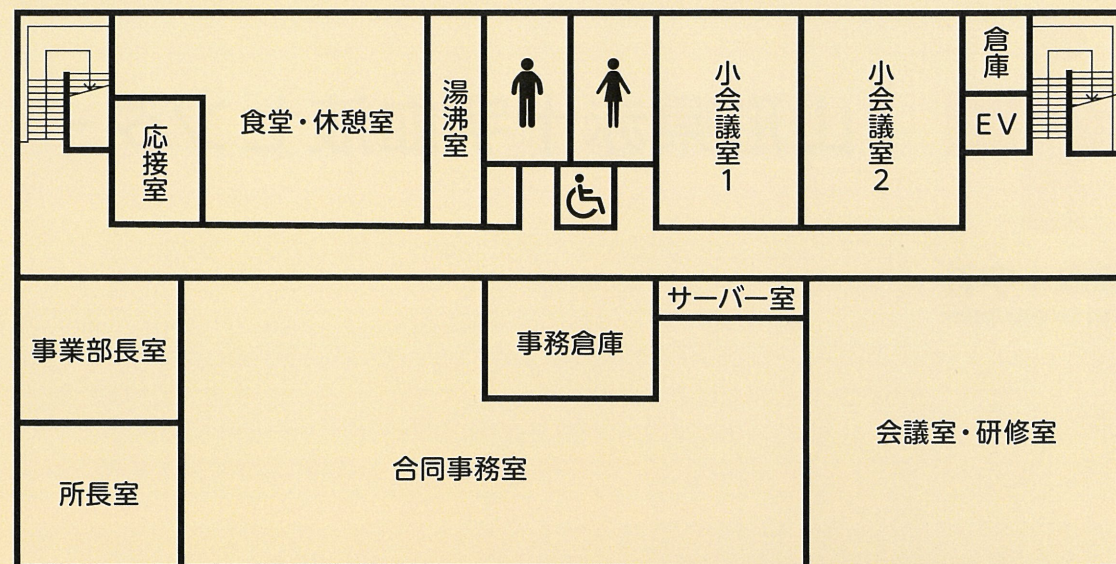


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

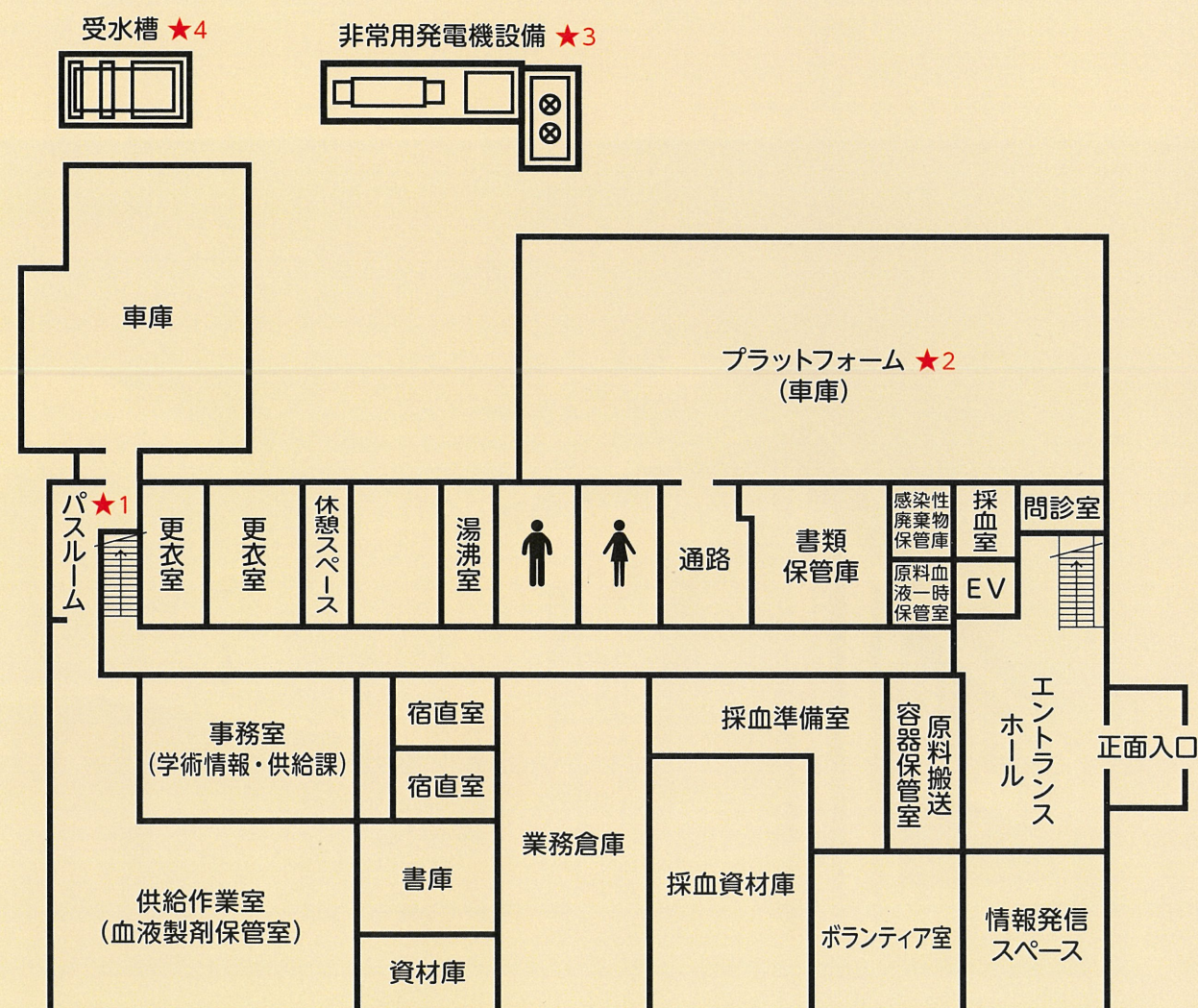
山形県赤十字血液センター



2F



1F



動線計画

パスルーフ ★1

血液製剤の出庫が効率的に行えるよう、供給車両の車庫に通じる通路を設置し、雨天時の対策としてひさしを設置

プラットフォーム ★2

献血バスに資材等の搬出入がスムーズに行えるよう、採血準備室と献血記念品等の倉庫からプラットフォーム（車庫）に通じる通路を設置

会議室・研修室

会議やセミナー、研修会等様々な用途で利用できる。映像・音響設備を完備し、約80名収容可能である。



エントランスホール

正面に、山形県産金山杉を使用したルーバーに施設名を表示し、山形県産品の木製家具を配置し、壁も木目調素材で統一した温もりを感じる空間となっている。



情報発信スペース・ボランティア室

情報発信スペースには、赤十字事業の普及啓発を図る書籍・パンフレットやポスターを展示し、ボランティア室は、インターネット環境等を整備し、大学生等のボランティアの作業室として、キャンペーンやイベントの準備等での活用ができる。



災害時対応

非常用発電機設備 ★3

停電の際も7日間連続運転分の燃料地下タンクを備えた非常用発電機設備を設置

受水槽 ★4

断水時に2日間対応できる受水槽を設置